

現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → [平成24年度](#) → 01 鳥取県版環境管理システム(TEAS)普及事業

● [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 01 鳥取県版環境管理システム(TEAS)普及事業

##### 施策

##### 1 事業の目的

鳥取県版環境管理システム審査登録制度(愛称:TEAS(テス))の普及により、県内の事業者、団体等の各種組織における環境配慮活動を推進する。

##### 2 事業の内容

事業者等が構築して取り組む環境管理システムのTEAS規格への適合性を審査し、登録する。  
TEAS規格の種類等については、次表のとおり。

##### ○鳥取県版環境管理システムの種類

	TEAS 1種	TEAS 2種	TEAS 3種
対象	高度な環境管理を行う企業等	I種以外の企業等、高等学校	家庭・地域、小・中学校・特別支援学校、店舗・小規模事業所
登録	鳥取県	鳥取県	鳥取県
審査	鳥取県の認定する審査機関	鳥取県の認定する審査機関	鳥取県
経費	有料	有料	無料
有効期間	1期1年(更新可)	1期1年(更新可)	1期3年(更新可)
その他	ISO14001へ移行を目指す企業等に有効	ほとんどの組織で導入可能な環境管理システムとして有効	EMSを体験し、環境問題への理解を深めるために有効

##### 【1種】

- ・平成19年度から、審査登録については鳥取県の認定する審査登録機関が有料で実施。
- ・平成23年度から、要綱の改正に伴い鳥取県の認定する審査機関が審査を実施し、県が登録。
- ・平成23年度から、KES(環境マネジメントシステム・スタンダード)と協働認証を開始。

##### 【2種】

- ・平成22年度までは鳥取県が認定する審査機関に委託し、無料で実施。
- ・平成23年度から、要綱の改正に伴い鳥取県の認定する審査機関が有料で審査を実施し、県が登録。
- ・平成23年度から、KES(環境マネジメントシステム・スタンダード)と協働認証を開始。

##### 【3種】

- ・店舗・小規模事業所、家庭・地域での取り組みを推進。学校については県・市町村教育委員会と連携して普及に努める。

##### 【支援制度】

○TEASに取り組む学校については、環境学習等を支援するため、とっとり環境教育・学習アドバイザーを派遣

○鳥取県環境推進企業協議会会員企業によるTEAS取組高校の見学受入れ

### 3 事業の現状及び課題

平成23年度末の1～3種の登録件数は765件

TEAS1種・2種については、平成23年度に制度の見直しを行ったこともあり、登録件数の伸び悩みが見られるため、KESとの協働認証等のメリットの拡充についてPRの強化が必要

### 連絡先

生活環境部 環境立県推進課 環境実践推進担当 電話0857-26-7874,7875


### 参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより

「TEAS(鳥取県版環境管理システム)審査登録制度」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17890>

現在の位置: [環境立県推進課](#) → [鳥取県環境白書](#) → [平成24年度](#) → 02 鳥取県環境管理システムの運用～TEAS(鳥取県版環境管理システム)1種認証取得～

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 02 鳥取県環境管理システムの運用～TEAS(鳥取県版環境管理システム)1種認証取得～

##### 施策

###### 1 事業の目的

県の事務・事業に係る環境負荷の低減、環境法令等の順守、環境施策の推進等を図るため、鳥取県版環境管理システム(TEAS)1種の規格に沿ったシステムを運用し、継続的な改善を進める。

###### 2 事業の内容

平成12年12月に本庁知事部局でISO14001認証取得後、平成17年度まで年次的に適用範囲を拡大。平成23年10月の事業棚卸しの評価委員より、ISO認証取得による所期の目的は達成し、成果もあったことから、平成24年度よりISO14001認証に替えてTEAS1種認証取得を検討することとなった。

###### 【取組内容】

- (1) オフィス活動における環境配慮の推進(共通)
- (2) 公共事業・イベント等における環境配慮の推進(該当課)
- (3) 環境基本計画の「とっとり環境イニシアティブプラン」に基づく環境施策の推進(該当課)
- (4) 環境法令等の順守

###### 3 事業の現状及び課題

従来からの環境配慮に対する取組みは後退させることなく全庁において環境管理システムの運用を図り、TEAS1種の認証取得を目指す。


##### 連絡先

総務部 総務課 ISO担当 電話0857-26-7883

##### 参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより「TEAS審査登録制度」  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/teas/>

現在の位置: [環境立県推進課](#) → [鳥取県環境白書](#) → [平成23年度](#) → 03 県立高等学校での環境教育の推進

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 03 県立高等学校での環境教育の推進

##### 施策

###### 1 事業の目的

- (1) 県立高等学校の環境教育推進を図る。
- (2) 各学校が企画した環境教育推進活動を支援する。

###### 2 事業の内容

- (1) 鳥取県版環境管理システム(TEAS)の取得促進  
県立高等学校のTEASⅡ種全校取得を目指す。
- (2) 環境教育推進活動への支援  
県立高等学校裁量予算学校独自事業における環境教育に係る事業を促進する。

###### 3 事業の現状及び課題

未申請の2校に対して、取得準備に向けた取組みを促し、平成24年度中の全校取得を目指す。

##### 連絡先

鳥取県教育委員会事務局 高等学校課 指導係 電話0857-26-7917

##### 参考URL

鳥取県教育委員会事務局高等学校課のwebサイトより  
高等学校課 [県立高等学校における環境教育の取組](#)  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=95557>

現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成24年度 → 04 小・中学校における環境教育の取組

● もどる

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 04 小・中学校における環境教育の取組

##### 施策

##### 1 事業の目的

学校の教育活動全体を通して環境や環境問題に関心を持ち、人間と環境とのかかわりについて理解を深め、環境を大切に  
する心を育てるとともに、環境保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的な態度や資質、能力を育成す  
る。

##### 2 事業の内容

###### (1)各教科等における取組

- ・総合的な学習の時間で、「環境」をテーマにした探究活動に積極的に取り組み、地域に根ざした体験活動を重視した実践を  
展開する。
- ・各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動など環境教育に関わる学習内容において、児童生徒の発達段階や教科等  
の特性に配慮しながら課題解決的な学習を展開する。
- ・各学校で「環境教育全体計画」を作成し、学校体制で環境教育・環境学習を推進する。

###### (2)児童会活動・生徒会活動、学級活動等における児童・生徒の自主的な環境に配慮した活動

- ・鳥取県版環境管理システム(TEASⅢ種)認証を取得し、各学校で計画した「環境に配慮した活動」を実施する。
- ・児童会や生徒会の呼びかけで学校全体で特色のある活動に取り組んだり、児童・生徒が学級活動として自主的に環境に  
配慮した活動に取り組んだりする。

###### (3)環境教育全体計画を活用した環境管理の在り方について検討する。

##### 3 事業の現状及び課題

【環境教育全体計画の作成状況】(平成22年度末現在)

小学校:85校(61.2%) 中学校25校(41.7%)

【TEAS3種の取得状況】(平成21年度末現在)

小学校:21校(15.1%) 中学校:9校(15.0%)

##### 連絡先

鳥取県教育委員会事務局 小中学校課 指導係 電話0857-26-7915

##### 参考URL

鳥取県教育委員会事務局小中学校課

<http://www.pref.tottori.jp/kyouiku/syoucyu/sho-chu.htm>

現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成23年度 → 05 幼児向け環境教育の促進

もどる

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 05 幼児向け環境教育の促進

##### 施策

##### 1 事業の目的

###### (1) こどもエコクラブ活動支援事業

次世代を担う子どもたちが環境保全への高い意識を醸成し、環境活動への主体的な取組みを定着させることを目的とした環境学習のツールである「こどもエコクラブ活動」を支援する。

###### (2) ちびっこエコスタート推進事業

保育所や幼稚園の児童へのエコ育(E~CO育で・ええ~子育て)の推進、さらには保育士・幼稚園教諭や保護者等の環境意識の向上及び実践活動の促進を図るため、とっとり環境教育・学習アドバイザー等による環境出前研修を実施する。同時にちびっこエコスタートの取組により、鳥取県版環境管理システム(TEAS3種)認証を取得し、保育所・幼稚園で計画した環境に配慮した活動を実施する。

##### 2 事業の内容

###### (1) こどもエコクラブ活動支援事業

###### ア 補助事業

補助事業	補助事業の内容	補助対象経費等
こどもエコクラブ活動支援補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもエコクラブの活動経費に対する市町村の補助事業に助成</li> <li>補助対象経費の限度額:メンバー及びサポーターの人数に700円を乗じた額</li> <li>補助率:1/2</li> </ul>	講師謝金及び旅費、図書購入費、材及び消耗品費、使用料賃借料、入館料、通信運搬費、保険料等(食糧費は対象外)

###### イ こどもエコクラブの結成支援

県のホームページを通じて活動内容を紹介するなど、こどもエコクラブの広報、PRを充実させ、登録の推進を図る。

###### ウ こどもエコクラブ活動交流会の実施

こどもエコクラブの交流会を開催し、事例発表や情報交換を通じて活動の活性化を図る。

###### (2) ちびっこエコスタート推進事業

平成23年度は、モデル園として、本事業に東部地域で2園が取り組んだ。  
平成24年度は、モデル園として、中部地域1園、西部地域1園程度を予定。

##### 3 事業の現状及び課題

###### (1) こどもエコクラブ活動支援事業

・平成18年度の補助制度創設以来、県内のクラブ登録数は順調に増加しているが、近年は横ばい傾向。(平成23年度実績:13市町、73クラブ)  
・こどもエコクラブ活動の広がりは見られるものの、市町村の中には未設置のところもあり、未だ活動に対する市町村間の温度差があるのが現状。

・今後とも市町村に、こどもエコクラブの活動に対する普及啓発、連携体制の強化を働きかける必要がある。

(2)ちびっこエコスタート推進事業

・幼児向けに出前研修を実施できるとっとり環境教育・学習アドバイザーが不足しており、人材育成を図る必要がある。



こどもエコクラブの活動(めだか取り)



こどもエコクラブ交流会(ネイチャーゲーム)

## 連絡先


生活環境部 環境立県推進課 環境イニシアティブ担当 電話0857-26-7205

## 参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより  
「環境教育情報」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17857>

現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成24年度 → 06 環境保全の啓発活動の推進

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 06 環境保全の啓発活動の推進

##### 施策

###### 1 事業の目的

環境保全意識の向上を図るため

###### 2 事業の内容

根雨・黒坂両小学校の環境教育は平成24年度も引続き実施し、併せて環境教育の指導者育成を図っていく。  
なお、ホームページによる情報発信を行い、環境学習に係る器材の使用促進、職員による出前講座活用を呼びかける。

また、新規事業として小学生等を対象とする夏休み自然体験学習を実施し、この体験を通して森林に対する愛情を培うとともに森林資源の確保、国土保全、環境保全に関心を持ってもらう。

###### (1) 環境学習の推進

- ① 放課後子ども教室(根雨小学校、黒坂小学校)
- ② 夏休み子供教室(日野町公民館)
- ③ 夏休み自然体験学習(新規事業)
- ④ その他、保育園、小・中・高等学校、公民館等からの依頼により実施

###### (2) 住民に対する情報発信と啓発活動の充実

- ① ホームページ(しぜんの宝箱)などで普及啓発
- ② 依頼に基づき自然保護監視員による自然環境の説明を実施

###### (3) こどもエコクラブ登録の推進

###### (4) 自然保護ボランティアと連携した自然保護活動の実施

###### 3 事業の現状及び課題

(1) 地球温暖化、廃棄物問題、身近な自然・緑地の減少など環境問題を解決するためには、自ら考え実践する人が増えることが必要である。

(2) 日野郡には豊かな自然が残っているが、さらなる環境保全意識の向上のため、広範囲な取り組みが求められる。特に次世代を担う子供達に普及啓発することが重要である。

(3) 平成22年度から根雨・黒坂両小学校で放課後子ども教室の一環として、1ヵ月に1回～2回、福祉保健局の職員を講師として環境教育を実施しており、今後実施箇所の拡大と指導者育成を図ることが重要となる。

##### 連絡先


日野総合事務所 福祉保健局 福祉保健課 保健衛生係 電話0859-72-2037



## 参考URL

鳥取県日野総合事務所のwebサイトより  
「環境教育・環境学習」  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=24177>

現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成24年度 → 07 鳥取方式の芝生化促進事業

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 07 鳥取方式の芝生化促進事業

##### 施策

###### 1 事業の目的

○校庭等の芝生化には、屋外活動の推進、子どもの情緒安定、周辺の気温低下による節電など、様々な効果が見込まれている。

○しかしながら従来、芝生は高価で管理が難しく、気軽に立ち入りができて親しめるというイメージでとらえられてこなかった。

○現在、鳥取方式の芝生化として、場所に応じて最適の芝生(洋芝、和芝)を選択、併せて、住民(関係者)も参加しながら最も効果的・効率的な維持管理を実施する取り組みが進み、全国から注目を集めている。

○このため、鳥取方式を考案したNPO法人グリーンスポーツ鳥取(GST)と連携し、鳥取方式の芝生化に県として総合的に取り組み、鳥取方式の発祥の地にふさわしい芝生化先進県を目指す。

###### 2 事業の内容

子どもが自由に運動したり、遊んだりする保育園・幼稚園の園庭、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校庭、広場(公園、空き地も含む)の芝生化を様々な主体と連携しながら加速度的に進める。

(1) 県民への情報発信、普及啓発

・鳥取方式の芝生化を促進するイベントの開催

・市町村や学校、施設関係者、県民の理解の促進(芝生化パンフレットや補助制度を紹介したチラシ、DVDの活用など)

(2) 県施設での芝生化の促進

・GST(NPO法人グリーンスポーツ鳥取)と連携して、目的に合致する県施設での芝生化に積極的に取り組み、適切な初期コストで、後の維持管理のしやすい芝生化の導入手法を選択していく。

(3) 芝生化の支援

・私立保育所・幼稚園及び小学校を対象に、鳥取方式の発祥の地にふさわしい芝生化に取り組むものへの支援を行う。

(4) プロジェクトチームでの芝生化の促進

・庁内関係課に加え、GSTが技術アドバイザーとして参画したプロジェクトチーム(H21～)において、鳥取方式の芝生化の推進に部局横断的に取り組む。

###### 3 事業の現状及び課題

幼稚園、保育園庭芝生化については、平成22年度に公立・私立合わせて37園を芝生化。平成23年度も公立・私立合わせて20園を芝生化し、大きく進んだところ。

一方、小学校校庭の芝生化については、県の補助事業を活用した全面規模の芝生化はなく、他の機関(県体育協会、日本スポーツ振興センター)の補助事業を活用した校庭一部の芝生化にとどまっている。小学校は面積が広く、様々な利用者があるため、さらに普及・啓発に努め、小学校での芝生化事例の増加に励む必要がある。ただし、平成24年度は県の補助事業を活用した芝生化が予定されている。



H22年度に芝生化した良善幼稚園

## 連絡先


未来づくり推進局 鳥取力創造課 電話 0857-26-7071

## 参考URL

鳥取県鳥取力創造課のwebサイトより  
「鳥取方式Rの芝生化の促進」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=119463>

現在の位置: [環境立県推進課](#) → [鳥取県環境白書](#) → [平成24年度](#) → 08 鳥取県地球温暖化防止活動推進センターの指定

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 08 鳥取県地球温暖化防止活動推進センターの指定

##### 施策

###### 1 事業の目的

地球温暖化対策の推進に関する法律(以下「法」という。)第24条に規定される鳥取県地球温暖化防止活動推進センター(以下「センター」という。)を指定し、センターを中心とした活動により、地球温暖化対策を草の根的に広げ、地域や家庭に根付いた地球温暖化防止活動を促進する。

###### 2 事業の内容

センターへ次の事業を委託

###### (1)地球温暖化防止推進事業

ア 家庭・地域で地球温暖化防止につながるライフスタイルやワークスタイルを県内に広く提案し、実践を促すための啓発活動

イ 温暖化防止に係る知識とファシリテーション技術を持ち、地域における温暖化防止活動をリードする県地球温暖化防止活動推進員の育成

###### (2)とっとり環境教育・学習アドバイザー制度運用事業

ア アドバイザー制度のPR業務

イ アドバイザーの人材発掘業務

ウ アドバイザーと環境学習会等主催者との連絡調整業務

エ アドバイザーの活動状況把握業務

オ アドバイザーの資質向上研修業務

###### (3)事業者うちエコ診断モデル事業

ア うちエコ診断を実施する県内に本店又は支店等がある事業者(以下「協力事業者」という。)の募集及び決定

イ 協力事業者においてうちエコ診断を行う「事業者うちエコ診断員」の育成

ウ 事業者うちエコ診断の実施管理及び事業成果の報告

###### 3 事業の現状及び課題

・平成22年6月にNPO法人ECOフューチャーととつりをセンターとして指定し、センターは人材育成並びに普及啓発事業を実

施。

・推進員委嘱の要件である推進員養成研修を開催しており、受講者のうち88名の推進員が委嘱されている。(平成24年3月末現在)

・各推進員は、センターの助言や情報などをもとに活動している。今後も行政施策情報や地球温暖化防止活動に関する最新の情報を入手できるようにセンターが中心となって情報の発信、共有化を図っていく必要がある。

・また、センターが中心となって、家庭におけるエネルギー使用実態の把握と、各家庭の実情に合わせた実効性の高い省エネ改善の提案を行う「うちエコ診断」を普及し、家庭での環境配慮活動を促進していく必要がある。

## 連絡先

生活環境部 環境立県推進課 環境実践推進担当 電話0857-26-7895

## 参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより

「地球温暖化対策(アイドリングストップほか)」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17861>

現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → [平成23年度](#) → 09 衛生環境研究所環境学習・活動支援事業

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 09 衛生環境研究所環境学習・活動支援事業

##### 施策

###### 1 事業の目的

持続可能な社会の構築に向けて、環境教育・学習の必要性は益々高まっており、環境学習の拠点として、引き続き環境に関する情報や体験の機会を積極的に提供する。  
環境教育・学習の機会や場の提供により、県民への環境に関する知識の普及、環境保全意識の高揚を図る。

###### 2 事業の内容

- (1) 小・中学校等の総合学習等の支援  
教育現場のニーズに応じ、施設見学や出前により環境学習を支援する。
- (2) 住民参加型環境マップ調査  
東郷池及び周辺河川の水質について、県民の参加を募って調査を行い、マップ化する。
- (3) 施設公開イベントの開催  
県民向けに研究所のPRと調査研究実績等の紹介を行う。
- (4) 環境学習用資機材の整備・貸出し  
環境測定キット、環境図書等の整備・貸出しを行う。

###### 3 事業の現状及び課題

研究所の施設や技術的ノウハウを活用しながら、小・中学校等の環境学習や環境活動団体の活動支援を行っている。

##### 連絡先


生活環境部 衛生環境研究所 企画調整室 電話0858-35-5411

##### 参考URL

鳥取県衛生環境研究所のwebサイトより  
「環境学習」  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=144173>

「施設見学・環境学習申込」  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=144170>

現在の位置: [環境立県推進課](#) → [鳥取県環境白書](#) → [平成23年度](#) → 10 衛生環境研究所発信事業

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 10 衛生環境研究所発信事業

##### 施策

###### 1 事業の目的

衛生環境研究所の調査研究の充実を図り、成果を社会に還元していくとともに、広く研究成果を公表する。

###### (1)調査研究の充実

研究成果を行政施策や対策技術等へ反映し、社会に還元する。

###### (2)環境情報・感染症情報の発信

ア 環境情報に関する県民のニーズに応え、環境問題に対する関心を高める。

イ 感染症の流行・予防等について県民の関心・注意を促す。

###### 2 事業の内容

###### (1)調査研究の充実

###### ア 外部評価の実施

当研究所の行う調査研究について、外部の学識経験者による評価を行い、結果を課題の選定、見直し等に反映する。

###### イ 分野別研究会の活性化

大学等研究者との分野別研究会において、最先端の研究者等との情報交流を深め、研究活動の活性化を図る。

###### ウ 研究成果の積極的な公開

広く一般県民を対象として、当研究所の研究成果や環境モニタリング結果等について公開し、意見や要望を聴取する。

###### (2)環境情報・感染症情報の発信

ホームページによる環境情報、感染症情報の提供に加え、地元ケーブルテレビにより研究内容を情報発信する。

###### 3 事業の現状及び課題

##### 連絡先


生活環境部 衛生環境研究所 企画調整室 電話0858-35-5411

## 参考URL

鳥取県衛生環境研究所のwebサイトより  
「鳥取県衛生環境研究所」  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=3565>



現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成24年度 → 11 とっとり県民カレッジ事業

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 11 とっとり県民カレッジ事業

##### 施策

###### 1 事業の目的

県民を生涯学習へいざなうため、そのきっかけづくりとして、総合的・体系的な学習機会や場の確保を行う。

###### 2 事業の内容

主催講座「未来をひらく鳥取学」において、「自然・環境」の科目を設定。

###### 3 事業の現状及び課題

講師により、参加者数の増減があるため、主催講座全体のバランスを考えながら講師選定を行うことが必要。



とっとり県民カレッジ開催の様子

##### 連絡先


鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課 生涯学習担当 電話0857-26-7944

##### 参考URL

鳥取県教育委員会事務局家庭・地域教育課のwebサイトより  
「とっとり県民カレッジ」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=47333>

現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → [平成24年度](#) → 12 米国バーモント州への青少年派遣

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 12 米国バーモント州への青少年派遣

##### 施策

###### 1 事業の目的

教育、環境、文化といった分野を基に現地の青少年等と交流を行うことで、未来を背負う青少年の国際感覚を養い、視野を広げるとともに、豊かな人間性の形成を目指す。同時にバーモント州との更なる交流の促進を図る。

###### 2 事業の内容

バーモント州内の民間環境交流団体GATPと連携の上、県内の高校生等を2週間程度派遣し、ホームステイをしながら、現地の高校生と共にフィールドスタディを中心に環境学習や学校交流を展開する

なお、平成21～22年度はモデル事業として県が実施したが、平成23年度から(公財)鳥取県国際交流財団への県補助事業に移管。

派遣時期等(予定):平成24年10月 派遣人数 生徒15名程度

###### 3 事業の現状及び課題

###### 4 生徒の募集方法

県HPや教育委員会を通じて募集(予定)

##### 連絡先

文化観光局 交流推進課 交流支援担当 電話0857-26-7079

##### 参考URL

文化観光局「国際交流」のwebサイトより  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=6140>

現在の位置: [環境立県推進課](#) → [鳥取県環境白書](#) → [平成24年度](#) → 13 鳥取県環境学術研究等振興事業

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 13 鳥取県環境学術研究等振興事業

##### 施策

###### 1 事業の目的

県内の高等教育機関における環境その他の地域の課題に関する調査研究を支援することにより、環境の保全及び快適な環境の創造に関する施策の推進並びに個性豊かな地域社会の形成に資することを目的とする。

###### 2 事業の内容

鳥取県環境学術等研究基金の運用益による、鳥取環境大学をはじめとした県内高等教育機関における環境等に関する学術研究への支援。

(1)財源 鳥取県環境学術研究基金の運用益(平成11年3月設置 約40億円)

(2)開始年度 平成13年度

(3)対象機関 鳥取環境大学、鳥取短期大学、鳥取大学、米子工業高等専門学校及び岡山大学地球物質科学研究センター

(4)助成額(予算額) 51,000千円

(5)成果の公表

「鳥取産業フェスティバル」でH23年度に実施した研究成果の発表を行う予定。

###### 3 事業の現状及び課題

今年度より、「とっとり知の財産活用推進事業」を「地域部門」、「北東アジア学術交流支援事業」を「北東アジア学術交流部門 地域部門」として統合し、従来からの「環境部門」をあわせ、3部門となった。

##### 連絡先

企画部・教育・学術振興課・高等教育・学術振興担当・0857-26-7814

##### 参考URL

鳥取県青少年・文教課のwebサイトより

「鳥取県環境学術研究振興事業」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=30107>

現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → [平成24年度](#) → 14 船上山少年自然の家・大山青年の家

📍 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 14 船上山少年自然の家・大山青年の家

##### 施策

##### 1 事業の目的

青少年を船上山や大山の自然に親しませ、自然の中での集団宿泊訓練等を通じて健全な育成を図る。

##### 2 事業の内容

キャンプ、ハイキング、カヌー、スキー、星座観察など、施設が行う主催事業

##### 3 事業の現状及び課題

利用者数の7～8割が児童・生徒であり、少子化により児童・生徒数が年々減少する中、今後、全体利用者数を増やすため、年齢層を拡げたプログラムを検討する必要がある。

##### 平成24年度開催事業一覧

##### <船上山夏を楽しむ>



##### <大山親子エンジョイスキー>



##### ○船上山少年自然の家

事業名	期日	対象	募集	概要
船上山 さくら祭り	4月29日(日)	一般	1000 名 程度	船上山の万本桜に囲まれて家族や友達と 楽しい1日を過ごしましょう！
ロッククライミング&	5月26日(土) ～27日	小学5年 ～中学生	15名	船上山の屏風岩にチャレンジ！自分の力 で30mの岩壁を乗り越えよう。木登り体験

ツリーイング教室 (春)	(日)			もできるよ！
ちっちゃい探検 隊(1)	6月23日(土) ～24日 (日) (兼スキルアップ セミナー(3))	小学1年生 ～3年 生	48名	5月の「スキルアップセミナー(1)(2)」を研修 した学生スタッフとのお泊り会。野山をか けめぐりワクワクするちっちゃい冒険にチャ レンジ！
船上山の夏を楽 しむ	7月21日(土) ～22日 (日)	小学4年生 ～中学生	40名	船上山の夏をダイナミックな活動で満喫。 ダム湖の活動などを通じて異年齢の参加 者間の交流も深まります。
大山・船上山チャ レンジ教室	7月31日(火) ～8月5日 (日)	小学5 ～中学生	60名	鳥取県を代表する大山、船上山両施設で 共同生活を通してさまざまな野外活動にチ ャレンジ！とても欲張りな企画です。
BIGな出合いの 集いin船上山	8月18日(土) ～19日 (日)	成年(20 歳以上独 身)	60名 (男子30名 女子30名)	船上山の夏をHOTに大人感覚で満喫。カ ヌーや野外炊飯で互いの距離もどんどん 縮まります。
ファミリーキャン プ	9月1日(土) ～2日 (日)	小・中学生 とその家 族	20家 族	ダム湖活動・谷川探検などの親子選択活 動・野外炊飯などの活動を親子で体験。親 子で船上山を満喫！
船上山の秋を楽 しむ	10月27日(土) ～28日 (日)	小学4年生 ～中学生	40名	船上山の秋の自然をダイナミックに感じる 活動を満喫。野外炊飯等の活動を通じて 新しい友達をつくるチャンス！
ちっちゃい探検 隊(2)	11月17日(土) ～18日 (日)	小学1年生 ～3年生	48名	家族と離れてドキドキしながら秋の野山を かけめぐり、ワクワクするお泊りでちっ ちやい冒険にチャレンジ！
船上山 アウトインスタデ ィ	12月25日(火) ～27日 (木)	小学3年生 ～中学生	60名	遊びも勉強も先生の卵(大学生)に何でも 聞いてどんどん力をつけよう！これから勉 強が楽しくなるかも！？
ハッピーニューイ ヤー in船上山	1月19日(土) ～20日 (日)	一般	100名	船上山で日本古来のさまざまなお正月文 化を体験！タコあげ、コマ回し、カルタと り・・・楽しい1年になりそう。
船上山 ウィンターフェス ティバル	2月2日(土) ～3日 (日)	一般	100名	銀世界の中で雪遊び。ソリ遊びや歩くスキ ー・スノーシューハイキングなど、好きな活 動を自由に選んで冬の船上山を満喫！
ちっちゃい探検 隊(3)	3月9日(土) ～10日 (日)	小学1年生 ～3年生	48名	家族と離れてドキドキしながら、早春の野 山を駆けめぐり、ワクワクするお泊りでち っちやい冒険にチャレンジ！

注：6月のちっちゃい探検隊①はボランティア自主企画と共同開催。

## ○大山青年の家

事業名	期 日	対象・定員	内容・目的
春の親子フェスティバル	4月30日(月) 日帰り	どなたでも 定員なし	様々な体験コーナーや親子 で楽しめるゲームがたくさん あります。休日のひとときを 青年の家で楽しみましょう。
親子エンジョイカヌー	1:5月19日(土) 2:5月20日(日) 両日とも日帰り	小学生以上の 親子 両日60人ずつ	伝説の赤松の池で、親子で カヌーを楽しみます。
大山ファミリー登山	5月27日(日) 日帰り	小学3年生以上の 家族50人	家族で励まし合って大山山 頂を目指します。新緑の大 山で様々な発見があります よ。
はじめての冒険 (中学年)	6月 9日(土) ～10日(日) 1泊2日	小学3～4年生 36人	小学校中学年を対象にした キャンプ。
生涯学習実践道場	7月 6日(金) 日帰り	生涯学習関係者 青年、一般 100人	生涯学習実践者の発表を 聞き、今後の生涯教育の実 践に役立てましょう。
親子ふれあいキャン プ	7月 7日(土) ～ 8日(日) 1泊2日	小学生以上の 親子100人	テント設営、野外炊事、キャン プファイヤー、カヌー等、 親子でいきいき体験活動！

チャレンジ教室 (仮称)	7月31日(火) 8月 5日(日) 5泊6日	小学5年生 ~中学生 60人 男女30人ずつ	※船上山少年自然の家との 共同開催。 大山及び船上山周辺での 野外活動を通して、自然を 大切にする心を育てます。
はじめての冒険 (低学年) 1:(夏) 2:(秋)	1:8月25日(土) ~26日(日) 2:10月27日(土) ~28日(日) 両日とも1泊2日	①②とも 小学1~2年生 各36人ずつ	小学校低学年を対象にした 初心者向けのキャンプ。
秋祭り	10月 6日(土) ~ 7日(日) 1泊2日	どなたでも 日帰り参加定員なし 宿泊参加は150人	青年の家を県民の方に開放 します。 様々なゲームや体験コー ナーを楽しんでください。初日 の夜はキャンプファイヤーで 盛り上がるよ!
親子エンジョイスキ ー	1:1月12日(土) 2:1月13日(日) 両日とも日帰り	小学1~4年生の 親子 両日100人ずつ	青年の家特設ゲレンデでス キーの基礎を学び、親子で 楽しめます。初心者大歓迎 です。
歩くスキーのつどい	2月2日(土) ~3日(日) 1泊2日	中学生以上 50人	クロスカントリースキーの基 礎を学び、冬の大山をツー リングして楽しめます。アニ マルトレッキングも楽しい よ。

## 連絡先


鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課 電話0857-26-7519  
 県立船上山少年自然の家 電話0858-55-7111  
 県立大山青年の家 電話0859-53-8030

## 参考URL

鳥取県立船上山少年自然の家のwebサイトより  
 「鳥取県立船上山少年自然の家」  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=37749>

大山青年の家のwebサイトより  
 「大山青年の家」  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=4308>

現在の位置: 環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → [平成24年度](#) → 15 氷ノ山自然ふれあい館響きの森

 [もどる](#)

## 2 NPOや地域・企業などと連携・協働した環境実践の展開

### 2-1 環境教育・学習の推進

#### 15 氷ノ山自然ふれあい館響きの森

##### 施策

###### 1 事業の目的

氷ノ山自然ふれあい館において、国立公園氷ノ山の豊かな自然を紹介し、その魅力を体験できる場を提供するとともに、自然を大切にすることをはぐくんできていく。

###### 2 事業の内容

県内の児童等を対象として、自然観察会、創作体験、スキー等野外活動などを通じて、氷ノ山の魅力を発信する。各種の参加型催事を開催し、幅広い世代を対象として響きの森への集客につなげる。

###### 3 事業の現状及び課題

○平成24年度イベント内容 【詳しくはホームページ等で確認】  
響きの森ホームページ <http://www.hibikinomori.gr.jp/>  
<イベント情報> <http://www.hibikinomori.gr.jp/ibenntojouhou.html>

##### 連絡先

生活環境部 公園自然課 自然公園担当 電話0857-26-7200  
氷ノ山自然ふれあい館 響きの森 電話0858-82-1620

##### 参考URL

鳥取県公園自然課のwebサイトより  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=45312>

氷ノ山自然ふれあい館のwebサイトより  
<http://www.hibikinomori.gr.jp/>